

10年後の下田市を考えよう！

下田市総合計画

今回は、第5回から第7回までの下田市総合計画審議会の内容やパブリックコメントの結果と、10月28日に行われた審議会の答申などについてお知らせします。

第5回総合計画審議会

第4回の審議会での各委員からの質問・提案についての協議（基本構想、基本計画1-1-1～1-2-5、次頁参照）を行った後、基本計画（2-1-2～4-1-2）を審議しました。（9月22日開催）

◎主な意見

- ・下水道接続率向上策を検討して欲しい。
- ・意識系指標は個々で見ると必要性が低く感じるが、全体で見比べると必要だと思ふ。
- ・30日以下の不登校の生徒・児童や保健室で過ごしている生徒・児童などにも対応できるものがないか。
- ・市の基幹産業である観光の方向性を示す観光基本計画をさまざまな団体や市民と一緒に策定する必要

がある。

- ・観光施策には、他産業や福祉などの目線からも記述するべきだ。
- ・情報基盤整備については市内でも市街地と周辺地の格差が大きいため、基地局をつくるなど重要性を認識して欲しい。
- ・ポランテアを市の労働の肩代わりにならないよう、しっかりと支援して欲しい。
- ・第3次計画に記述があった児童館の設置がなくなっている。新設でなく既存施設の一部利用などでも構わないから記述して欲しい。

第6回総合計画審議会

予定の審議会では審議が終わらなかったため、臨時で審議会を開催し、基本計画（4-1-1-3～5-1-3）を審議し

- ・産婦人科医が1院しかないことについて記述するべきだ。
 - ・地域医療については5年後に最優先で見直しを行って欲しい。
 - ・危険な場所を避難場所にし
- ました。（10月1日開催）
- ◎主な意見
- ・高齢者や障害者の家族などへのケアについても記述した方がいい。
 - ・保健センターや休日夜間救急医療センターの建設は長年の懸案事項のため市内でしっかりと議論して欲しい。
 - ・夜間飛行などドクターヘリの有効活用は重要な話なので推進して欲しい。
 - ・地域医療の充実には市民のニーズが一番高いところなので、取り組みが難しいのはわかるが前向きな記述にするべきだ。

総合計画審議会答申

6月15日に市長から下田市総合計画審議会に諮問された第4次下田市総合計画の策定に関して、審議が終了したことに伴い、市長への答申を土屋会長など代表者4名で行いました。（10月28日答申）

◎主な答申内容

- ・計画を評価・検証するために、目標値の設定や財政計画、事業計画を明示したことは評価できる。
- ・将来都市像である「自然と歴史を活かし、やすらぎと活力のある美しいまち」の着実な実現を求める。
- ・基本計画については、中間年の見直しを図られたい。
- ・目標値については、計画内の整合性など適正なものであるかを検証し、見直しを図られたい。
- ・地域医療の充実が、最重要課題であり、夜間運航を含むドクターヘリの効果的な活用や産婦人科医の設置、休日夜間救急医療センターの建設の早期実現を図りたい。
- ・市の基幹産業である観光に

パブリックコメントについて

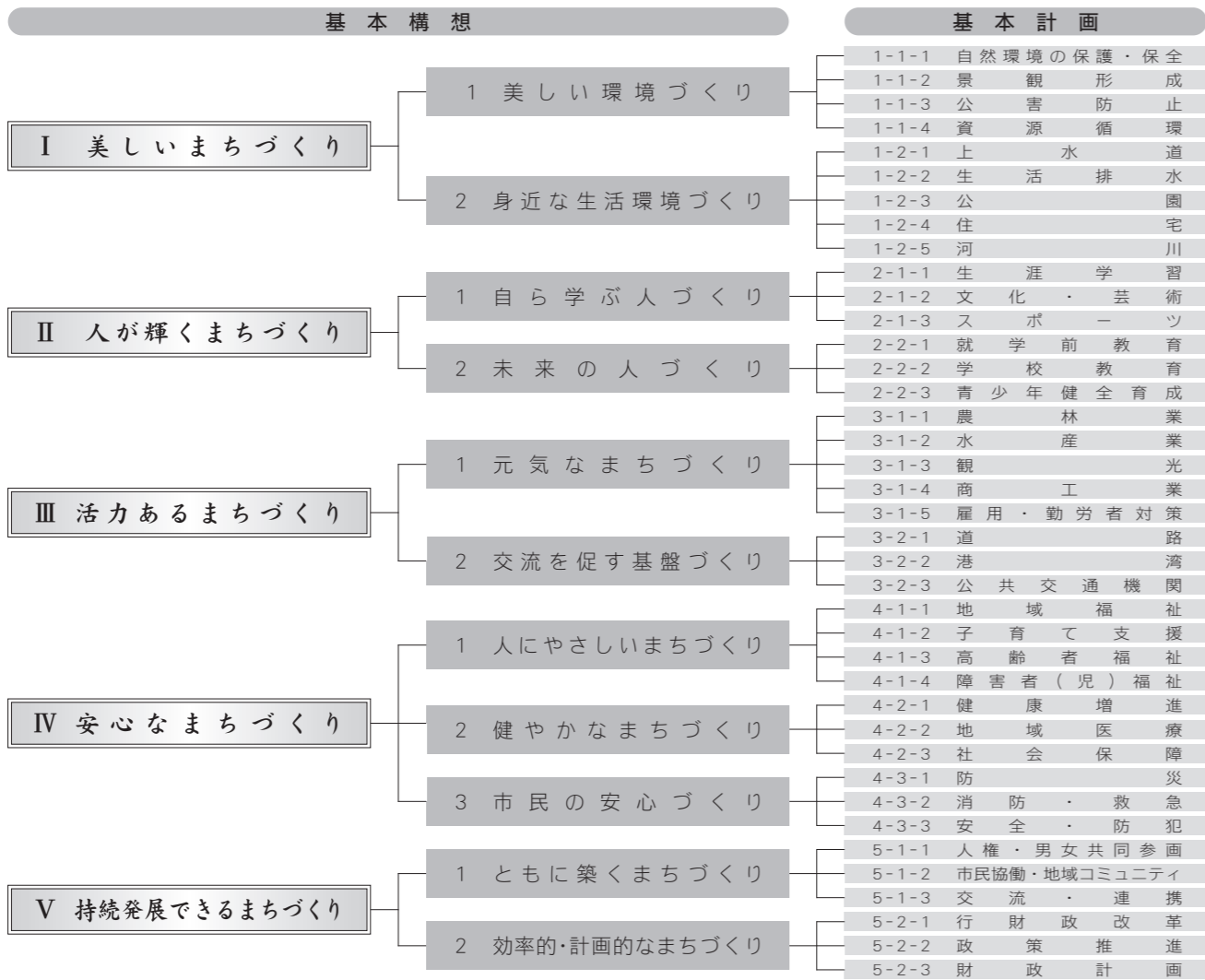
関する基本計画を早急に策定し、プロジェクトチームを設置し事業推進を図りたい。

- ・公共施設の耐震化は事業計画に基づき着実な実現を図りたい。
- ・第3次総合計画で実現できなかった児童館及び保健センターの建設の早期実現を図りたい。
- ・情報基盤整備は重要な事業であり、市内外の地域間格差の解消を図りたい。
- ・下水道接続率の向上のため効果的施策を検討されたい。

計画を策定する過程において、広く市民の皆様からのご意見をお聞かせいただき、計画に反映させることを目的とした制度で、基本構想（案）、基本計画（原案）に対してのご意見を9月3日から10月1日まで募集したところ、17項目についてのご意見をいただきました。ご意見への対応については市ホームページと情報公開コーナーで公開していきます。貴重なご意見をたくさんお寄せいただきありがとうございます。

第4次総合計画の施策体系

将来都市像 『自然と歴史を活かし やすらぎと活力のある美しいまち』



第4次総合計画策定のスケジュール

平成21年8月～平成22年11月	総合計画策定委員会設置（5回開催）
平成21年9月～平成22年7月	総合計画策定庁内会議設置（15回開催）
平成21年10・11月	市民アンケート実施（市民・中高生・職員）
平成22年4・5月	産業団体等ヒアリング（農協、漁協、商工会議所、観光協会）
平成22年5月	地区懇談会（市内6か所）
平成22年6月～10月	下田市総合計画審議会設置（7回開催）
平成22年9月3日～10月1日	パブリックコメントの募集
平成22年10月28日	審議会答申
平成22年12月	市議会提出
平成23年4月	第4次総合計画スタート

昨年、8月に総合計画策定委員会（市3役と全課長にて構成）が設置され策定が始められた総合計画は、市民アンケートや産業団体等のヒアリング、地区懇談会でいただいた意見を踏まえ策定庁内会議（若手・中堅市職員にて構成）で15回にわたり検討し、策定委員会を経て原案を完成させました。市長より審議会に6月に諮問をし、7回の審議を重ね10月に審議会から答申がありました。答申内容とパブリックコメントの意見を反映した最終案を12月の市議会定例会に提出します。

ているケースがあるため、しっかりと洗い出しや見直しを行なって欲しい。

- ・事業を実施する事で数値が悪くなっても理由がつかないから、実質公債費比率や将来負担比率といった財政健全化の指標を明記するべきだ。

第7回総合計画審議会

第5・6回の審議会での各委員からの質問・提案につい

- ・児童館や保健センターなどはお金がないからできないではなく、必要なもので検討するべきでないか。
- ・高齢者が多くなる中、耕作放棄地対策など農林業の施策が弱いと思う。
- ・この10年での重要施策は公共施設の耐震化だと思ふ。

◎主な意見

での協議を行った後、パブリックコメントを確認し、答申内容を審議しました。（10月15日開催）